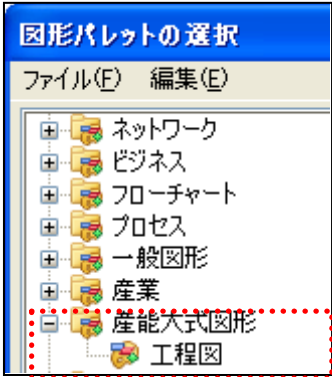


産 能 大 式 フ ロ ー チ ャ ー ト - は じ め に -

本フォルダには、産能大式業務フローチャートの作成に役立つ、以下の内容が含まれています。

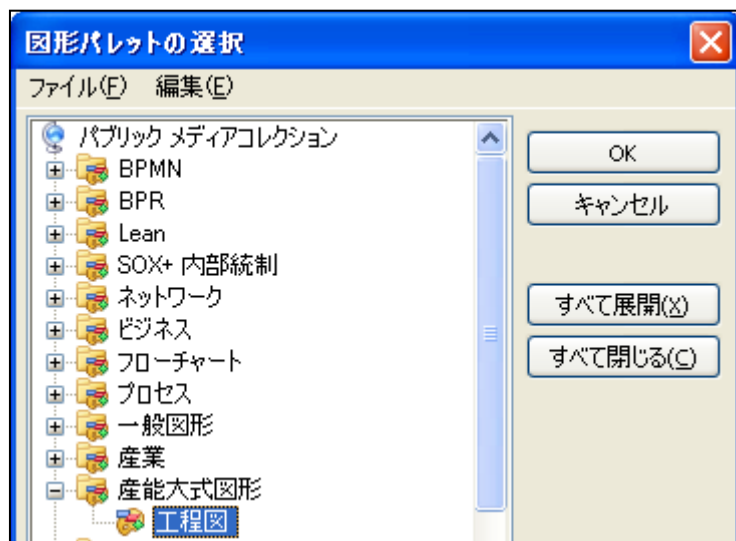
ファイル	説明
産能大式図形 (図形コレクション)	<p>産能大式業務フローチャートで使用する図形を集めた図形集です。SOX+のインストールと同時に、「パブリックメディアコレクション」にインストールされます。 必要な図形を自分用の図形集にコピーしてご利用下さい。</p> 
Sanno.igt	<p>産能大式業務フローチャートの作図に適した設定を行ったテンプレートのサンプルです。 参考にしてご自分のテンプレートを作成して下さい。</p>
産能大式フローチャート について.pdf	<p>本文書です。 各ファイルの概要やテンプレートの設定内容、産能大式業務フローチャートを描く上で 便利な設定、機能等について簡単に説明しています。</p>
産 能 大 式 フ ロ ー サ ン プ ル.igx	<p>産能大式の業務フローチャートのサンプルです。</p>

これまでも多くの方が iGrafx を使用して産業能率大学の事務工程分析図表を作成されておられますが、より簡単に産能大式業務フローチャートを作成いただけるよう、産能大式で良く使用される図形コレクションおよびテンプレートを SOX+ ユーザー様向けに同梱してご提供いたします。

図 形 コ レ ク シ ョ ン

産能大式図形コレクションのインストール

産能大式図形コレクションは、SOX+のインストール時に、下記のように iGrafx のパブリックメディアコレクションにインストールされています。



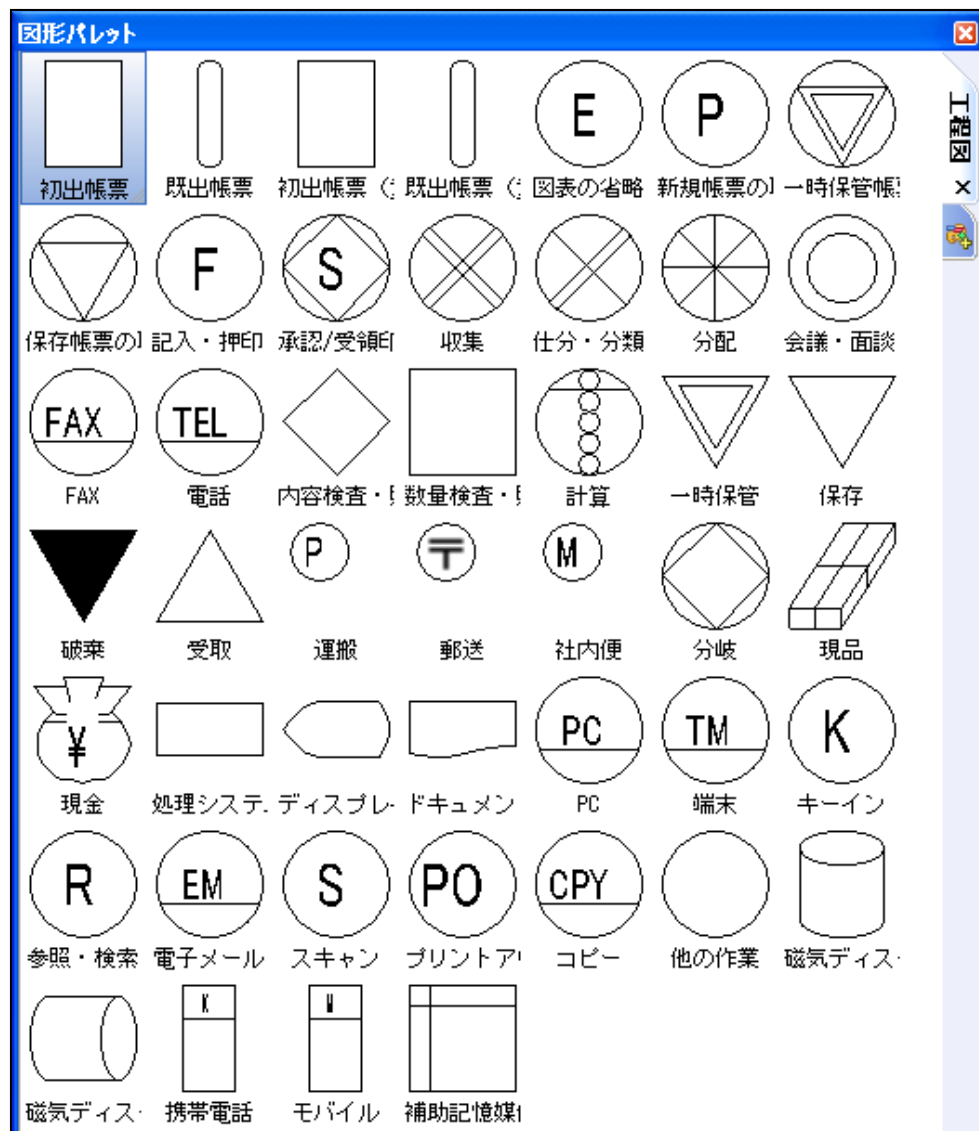
産能大式図形コレクションの活用

通常、「産能大式図形」に納められた全ての図形を使用する必要はありません。

産能大式業務フローチャートを描くにあたっては、最初に「個人用メディアコレクション」に自分用の「コレクション」を作成し、そこに「産能大式図形」の「工程図」から必要な図形をコピーし、他に必要な図形があれば足して専用の図形集を作成されることをお勧めいたします。

個人用メディアコレクションの作成については、[iGrafx ヘルプ]の[メディアコレクションを作成する]の項目をご覧ください。

産能大式図形コレクション：図形一覧



本図形サンプルは以下のテキストを参考にさせて頂いております。

：『改訂新版 システム分析・改善のための業務フローチャートの書き方』

監修・執筆 高原 真 執筆 栄口 正孝・郷原 正

産業能率大学出版部 2007 年

産能大式業務フローチャートを描く

産能大式の業務フローチャートを作図する際の注意事項と、作図に役立つ設定を説明します。

なお、この文書の作例はあくまで参考例です。実際に作図するにあたっては、プロジェクトで定めたルール・様式に基づいてテンプレートの設定・図形集の用意を行って下さい。

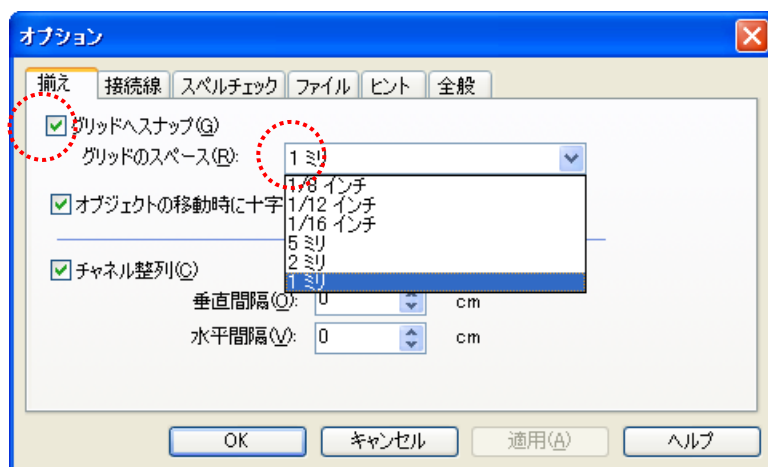
- ※ iGrafx の設定には、機能によって iGrafx 自身の設定と、図表単位に依存している設定があります。iGrafx 自身の設定を変更する場合には、iGrafx で開く全てのファイルに対して同じ設定が適用されます。
- ※ 設定を行った図表は、保存時に「iGrafx テンプレート (*.igt)」形式を選択することで、テンプレートとして保存しておくことができます。
「Sanno」フォルダ内の「Sanno.igt」も参考にして下さい。

産能大式図形を配置する

図形を自由に配置できるようにする

図形の位置をより細かく指定できるように、グリッドの設定を変更します。

[ツール]メニューの[オプション]ダイアログを開き、[揃え]タブで「グリッドのスペース」の数値を 1 ミリ程度まで小さくすると、より細かい指定が可能になります。



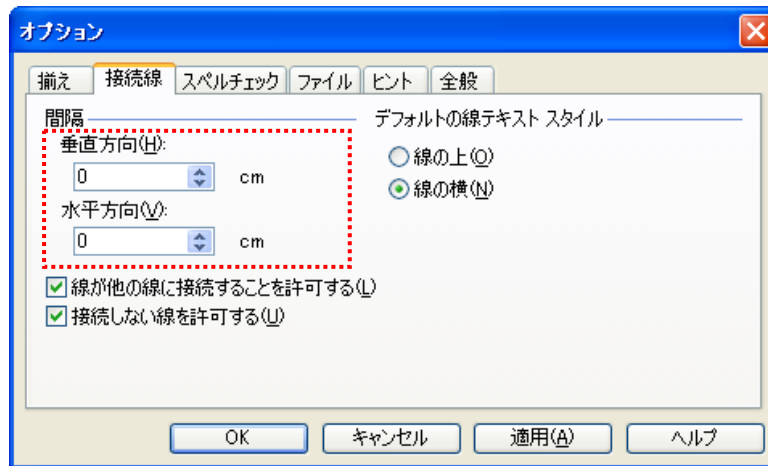
図形を完全に自由に配置したい場合は、「グリッドヘスナップ」のチェックを外して下さい。

- ※ [図形]メニュー - [グリッド] - 「グリッドヘスナップ」でも切り替えることができます。

図形を接続線に接して配置する

標準の設定では、図形と接続線は接触することがないよう、「間隔」が設定されています。

産能大式では、接続線に接するように図形を配置していきますので、図形と接続線の「間隔」を水平方向・垂直方向ともに「0」にしておきます。

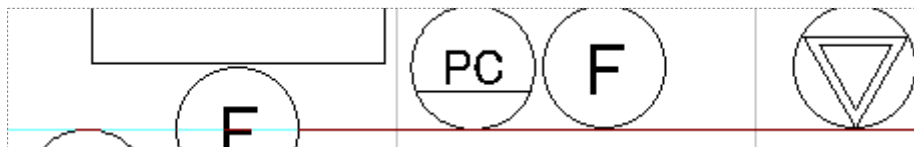


図形を配置する際は、接続線に近いところに図形を置くと接続線と図形が結びついてしまうことがあります。少し離れたところに置いてから移動するようにして下さい。

図形を揃える

産能大式業務フローチャートでは、図形を水平に並べていきます。それらの図形の位置をそろえるには、いくつかの方法があります。

- (1) 「図形」メニューの「揃え」コマンド
 整列したい図形をまとめて選択し、最後に基準にしたい図形を選択します。
 Ctrl + Shift + 5 で中央（横）、Ctrl + Shift + 6 で中央（縦）を基準に揃えます。
- (2) 「ガイドライン線」
 ガイドライン線は、線にそって図形を並べていくことができる補助線です。
 ガイドライン線は、ルーラーからマウスをドラッグするか、「図形」メニューの「ガイドライン」コマンドで挿入できます。



※ ガイドライン線（青い線）には図形が吸着するので、図形を簡単に揃えることができます。

図形の上下を入れ替える

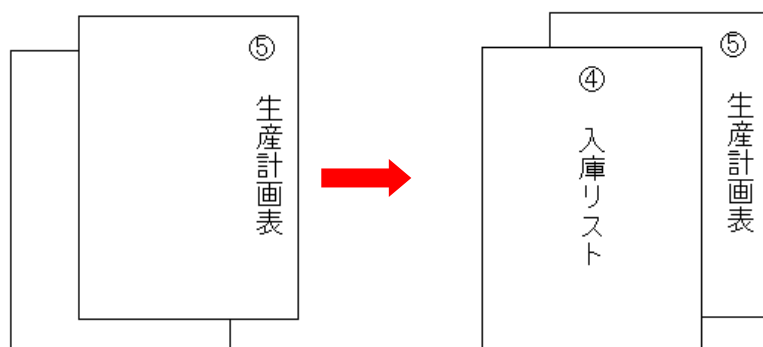
図形を重ねたとき、新しく配置した図形ほど上（手前側）に表示されます。

必要に応じて「図形」メニューの「順番」コマンドで図形の順番を入れ替えて下さい。

重ねた帳票をまとめてコピーする時は、一番下の図形から順に選択してからコピーすると順番を崩さずにコピーできます。

図形の順番を入れ替えたい時は、キーボードショートカットが便利です。

前面へ : Ctrl + Shift + F (Front) 背面へ : Ctrl + Shift + B (Back)
 一つ上へ : Ctrl + Shift + O (Over) 一つ下へ : Ctrl + Shift + A



産能大式の接続線を描く

産能大式ではさまざまな種類の接続線が使われます。

ナガレ線、関連線などは標準の「直角線」の書式を変更するだけで問題ありません。

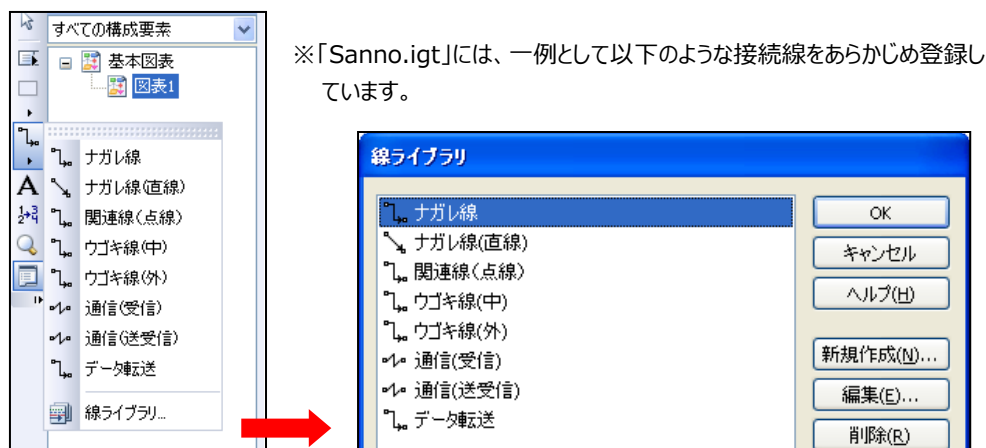
しかし、ナガレ線の中でも帳票の収集や分配に関する線は「直線」もしくは「直角線」の角を丸めた線を使用する必要があります。通信線は電光線を使用する必要がありますし、ウゴキ線などはやや特種な描き方をする必要があります。

そこで、主要な線はあらかじめ「線ライブラリ」に登録しておき、いつでも切り替えられるようにしておくことをお勧めします。

また、「線ライブラリ」はアプリケーションの設定ではなく図表単位で保存される設定ですので、毎回登録する手間を省くためにはテンプレートとして保存しておくのが便利です。

線ライブラリの登録

画面の左側に表示されている「ツールボックス」ツールバーの「線ライブラリ」を開き、「新規作成」ボタンから新しい接続線を追加することができます。



接続線	内容
ナガレ線	通常の接続線と同じ直角線（自動的に直角に曲がる線）ですが、両端に矢印を持ちません。通常の作業のナガレはこの線で表します。
ナガレ線（直線）	仕分け・分配の際の放射線状のナガレ線に使用します。

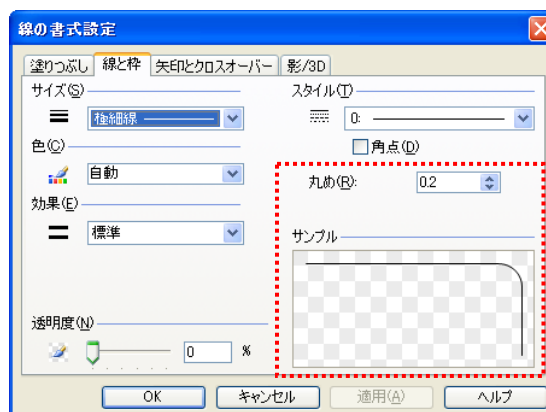
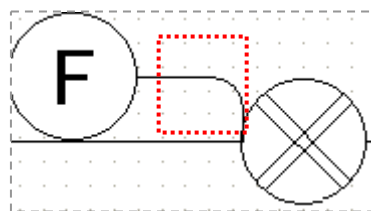
接続線	内容
関連線	同一の帳票が再び現れるときにそれぞれの関連を表す点線です。
ウゴキ線（中・外）	現品・現金の動きを表します。中と外の線を重ね合わせて線路にします。
通信	データの送受を示す電光線です。送受信の場合は矢印が双方向です。
データ転送	システムと磁気ディスク等の記憶媒体のデータ転送を表す接続線です。

「線ライブラリ」に登録した接続線は、「接続線ツール」でいつでも切り替えて使用できます。

線の角を丸める

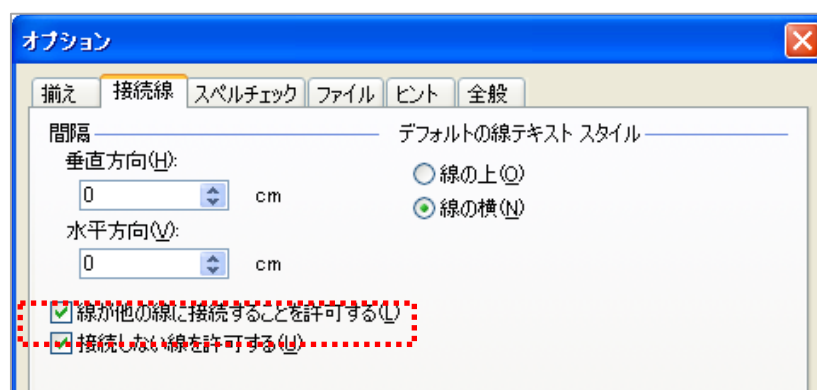
帳票をまとめる時など、接続線の曲がりを直角ではなく丸いカーブにさせたい場合があります。

変更したい接続線を選択し、[書式]メニューの[線と枠]コマンドで[線の書式設定]ダイアログを開いて下さい。[線と枠]タブの[丸め]に適当な数値(0.1~0.3)を入力します。



図形に接続しない接続線

右記のような、接続線が途中で途切れている線を描く場合は、[ツール]メニュー→[オプション]→[接続線]タブで、「接続しない線を許可する」にチェックを入れてから接続線を引いて下さい。



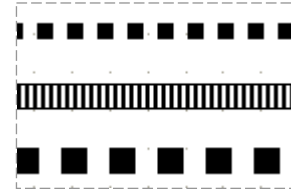
このチェックが入っていると、接続線を引くときに線が図形に自動的に吸着しません。通常はチェックせず、必要な時だけチェックを入れるようにして下さい。

現品・現金の動き線（ウゴキ線）の描き方

産能大式では現品・現金の動きを鉄道線路の線で表しますが、iGrafx の接続線は、そのままではこのような書式を表現できません。

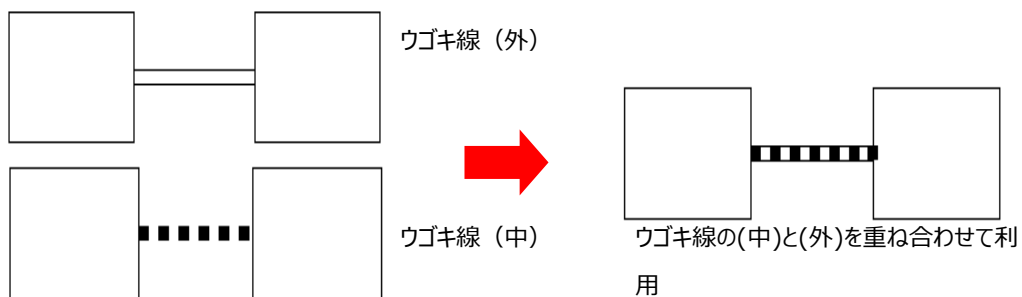
そのため、以下のような手段で代用して下さい。

- (1) 右図の線のような太めの点線を使って代用する
- (2) 下図のように、二種類の接続線を重ね合わせて線路の形にする
ex.「Sanno.igt」のウゴキ線(中)および(外)の組み合わせ



一度重ねた線は図形を移動しても基本的に同時に動き・曲がりますので、ほとんど一本の線のように扱うことができます。

接続線の書式変更



ナガレ線と関連線については、まず標準のナガレ線で全部の線を描き、後から「ギャラリー」で書式を変更するか、関連線の書式を「書式コピー」ツールでコピーする方法もあります。



株式会社サン・プランニング・システムズ